

各 位

上場会社名	株式会社 タカギセイコー
代表者	代表取締役社長 高木 章裕
(コード番号	4242)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 沖 孝則
(TEL	0766-24-5522)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月14日に公表しました2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想及び2026年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2026年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,690	250	250	△310	△111.31
今回修正予想(B)	20,200	560	630	380	136.12
増減額(B-A)	510	310	380	690	
増減率(%)	2.6	124.0	152.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年3月期第2四半期)	21,738	558	584	128	46.34

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,050	1,300	1,460	290	104.13
今回修正予想(B)	40,870	1,450	1,700	860	308.07
増減額(B-A)	820	150	240	570	
増減率(%)	2.0	11.5	16.4	196.6	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	44,293	1,163	1,272	△2,250	△808.20

修正の理由

2026年3月期第2四半期(中間期)の売上高は、当初の想定為替レートに対して円高で推移したため、邦貨換算による減収影響はあるものの、OA(その他)分野、車両分野ともに国内外の受注の増加等により、前回発表の19,690百万円を2.6%上回る20,200百万円の見通しとなりました。損益面では邦貨換算による減益影響はあるものの、上述の増収効果等により、営業利益は前回発表の250百万円を124.0%上回る560百万円、経常利益は前回発表の250百万円を152.0%上回る630百万円となり、関係会社整理益等の特別利益の増加及び関係会社持分譲渡に関する税金費用等の減少を見込んだ結果、親会社株主に帰属する中間純利益は前回発表の310百万円の赤字予想から690百万円改善の380百万円の中間純利益の見通しとなりました。

通期の売上高につきましても、想定為替レートに対する円高影響等を見込むものの、国内外における受注の増加等を見込み、前回発表の40,050百万円を2.0%上回る40,870百万円の見通しとなりました。また、損益面でも、邦貨換算による減益影響はあるものの、第2四半期(中間期)の連結業績見込等も踏まえ、営業利益は前回発表の1,300百万円を11.5%上回る1,450百万円、経常利益は前回発表の1,460百万円を16.4%上回る1,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表の290百万円を196.6%上回る860百万円の見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がございます。

以 上